

都市再生整備計画 事後評価シート
白河市中心市街地地区

令和2年2月

福島県白河市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福島県		市町村名	白河市		地区名	白河市中心市街地地区			面積	114.0ha
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	令和元年度		交付対象事業費	277.2	国費率	0.448		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路：(市)市民会館北線整備事業、(市)市民会館南線整備事業 公園：小南湖公園整備事業 地域生活基盤施設：市民駐車場整備事業								
		提案事業	地域創造支援事業：中心市街地交流センターリニューアル整備事業								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設：市民駐車場整備事業	事業区分の変更			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	地域創造支援事業：中心市街地交流センターリニューアル整備事業	事業区分の変更			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業									
		提案事業									
交付期間の変更	変更	H25～H29	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	平日歩行者通行量	人/日	2,734	H23	2,750	H29	3,024	○	あり	歴史・文化・交流の拠点となる(仮称)白河市民文化会館、中心市街地市民交流センター、小南湖公園が整備されたことや、市民会館北線・南線など周辺の歩行環境が改善されたことにより、まちなかの回遊性が向上し、歩行者数が増加した。
	指標2	中心市街地交流センター(マイタウン白河)年間利用者数	人/年	90,934	H22	100,000	H29	175,151	○	あり	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)のリニューアルにより、子育て支援施設やチャレンジショップ、介護福祉士専門学校などが新たに入居したほか、定期的なイベントが開催されたことなどにより、子育て世代や学生など利用者数が大幅に増加した。
指標3	小売業及び一般飲食店事業所数	箇所	187	H23	209	H29	171	△	あり	(仮称)白河市民文化会館、中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)、小南湖公園の整備により来街者は増加したが、その効果が中心市街地の商店街全体に波及せず事業所数の増加に直接繋がらなかった。	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	(仮称)白河市民文化会館年間利用者数	人/年	36,450	H22			124,143			(仮)白河市民文化会館は、誰もが気軽に質の高い芸術文化に触れることができる施設として市民に広く利用されているほか、芸術的価値が高い多様なジャンルの事業が開催され、市内のみならず市外及び県外からも集客が図られ、来館者が大幅に増加した。
	その他の数値指標2	-									
	その他の数値指標3	-									
	4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・(市)市民会館北線・南線の整備により、隣接する市民駐車場の利便性が向上し、まちなかの回遊性向上に寄与したほか、歩道の設置により歩行者の安全性が確保された。 ・市指定史跡である白河藩大名家墓所が位置する小南湖公園の整備により、本市の歴史的風致の維持向上に寄与した。 									
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容	実施状況			今後の対応方針等					
			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	小南湖公園整備事業に関する意見の集約を実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた			●					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	白河市中心市街地活性化協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた			●					
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

白河市中心市街地地区(福島県白河市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
【大目標】 高次な文化ゾーンの整備により、「まち」の賑わいを創出し、中心市街地の再生を図ることを目標とした都市再生整備計画白河駅南地区のコンセプトを継承するとともに、歴史・伝統・文化に裏付けされた「城下町白河」により磨きをかけ、まちの複合性及び魅力をさらに高めることにより、中心市街地の活性化を図る。 〈目標 1〉 「城下町白河」の個性的な歴史的・文化的資源に磨きをかけて、交流人口の拡大を図る。 〈目標 2〉 中心市街地内の回遊性を高めるために、商店街を含めた滞留拠点の充実を図るとともに、良質な都市景観を形成することにより、地域の魅力向上を図る。 〈目標 3〉 都市交流拠点施設の整備・拡充により賑わいを創出し、中心市街地の活性化を図る。	平日歩行者通行量	単位:人/日	2,734 H23	2,750 H29	3,024 H30
	中心市街地交流センター(マイタウン白河)年間利用者数	単位:人/年	90,934 H22	100,000 H29	175,151 H30
	小売業及び一般飲食店事業所数	単位:箇所	187 H23	209 H29	171 H30

■基幹事業:道路
 ○(市)市民会館北線
 改良工 L=80m W=6.0m

■基幹事業:高質空間形成施設
 ○(市)市民会館南線
 改良工 L=80m W=9.0m うち、歩道 L=80m W=2.0m
 街路灯4基 N=4基

■基幹事業:公園
 ○小南湖公園整備事業
 園路整備(通路、ベンチ設置、法面、水源)、修景施設再整備(浚渫、護岸整備等)、駐車場整備、四阿整備、森林伐採・修景整備
 A=35,000㎡

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 白河藩歴代大名墓所が所在する小南湖公園の整備により、本市の歴史的資源を活用したまちなかの回遊拠点が整備された。 (市)市民会館北線・南線とあわせて市民駐車場が整備されたことにより、周辺の歩行環境が改善され、まちなかの滞留拠点の充実が図られた。 (仮称)白河市民文化会館や中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)の整備により、交流拠点の充実が図られ、賑わいが創出された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 整備した交流拠点や回遊拠点のさらなる利用促進により、継続的な賑わいの創出を図っていく。 歴史的風致建造物の有効活用や城下町の良好な景観形成、高質な街路整備、歩行環境の拡大により、まちなかの回遊性向上を目指す。 中心市街地の交流拠点の活用促進、機能拡充とあわせて、商店街やまちづくり会社などと連携し、回遊性の向上に取り組むことで、中心市街地全体の賑わい創出を目指す。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

			変更前		変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
B. 目標を定量化する指標	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
C. 目標値	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			
D. その他()	<input type="checkbox"/>	<input type="radio"/>			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	(市)市民会館北線	8.6	改良工L=80m	17.9	改良工L=80m	事業内容の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
道路	(市)市民会館南線	19.7	改良工L=80m	-	なし	事業区分の変更	影響なし		
公園	小南湖公園	167.0	園路整備、湖沼整備 A=55,000㎡	211.0	園路、修景施設再整備、 駐車場整備等 A=35,000㎡	事業内容の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	市民駐車場	71.3	市民駐車場(146台) A=約5,000㎡	-	なし	事業区分の変更	影響なし		
高質空間形成施設	(市)市民会館南線	-	なし	48.3	改良工L=80m	事業区分の変更 事業内容の見直しによる事業費の増	影響なし	○	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理 住宅市街地									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	中心市街地交流センターリニューアル整備事業	100	中心市街地の交流拠点	-	なし	平成27年に関連事業への移行により削除	影響なし		
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
暮らし・にぎわい再生事業		(仮称)白河市市民文化会館、駐車場	7,743.0	10,282.5	H25 ~ H27	H25 ~ H28	平成28年に竣工し、中心市街地の賑わい拠点となっている。		
身近なまちづくり支援街路事業		(仮称)乙姫桜プロムナード2号線・3号線	376.0	376.0	H25 ~ H28	H25 ~ H28	事業完了		
街なみ環境整備事業		丹羽長重廟周辺	54.0	54.0	H23 ~ H25	H23 ~ H26	平成26年に竣工し、小南湖公園と共に中心市街地の回遊拠点となっている。		
暮らし・にぎわい再生事業		中心市街地市民交流センター	100.0	1,429.6	-	H26 ~ H28	平成28年に竣工し、中心市街地の賑わい拠点となっている。		
-		市民駐車場	71.3	24.5	-	H28 ~ H29	平成29年に竣工し、市民会館北線・南線と共に中心市街地の回遊拠点となっている。		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	事後評価	数値	モニタリング	事後評価	あり	なし	
指標1	平日歩行者通行量	人/日	中心市街地内の平日歩行者通行量(H31.3.15、8箇所、8時間、白河市調べ)	2,734	H23	2,750	H29	モニタリング			モニタリング			
								事後評価	確定見込み	○	3,024	事後評価	○	
指標2	中心市街地交流センター(マイタウン白河)年間利用者数	人/年	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)に係る年間利用者数(H31.4、白河市調べ)	90,934	H22	100,000	H29	モニタリング			モニタリング			
								事後評価	確定見込み	○	175,151	事後評価	○	
指標3	小売業及び一般飲食店事業所数	事業所	中心市街地内に存する小売業及び一般飲食店事業所数(H30.12、現地確認、白河市調べ)	187	H23	209	H29	モニタリング			モニタリング			
								事後評価	確定見込み	○	171	事後評価	△	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	(仮称)白河市市民文化会館の整備や中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)のリニューアルにより、来街者が増加し歩行者数の増加につながった。	
指標2	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)のリニューアルにより、子育て支援施設やチャレンジショップ、介護福祉士専門学校などが新たに入居し、子育て世代や学生を中心に利用者数が増加し、目標値を大幅に上回った。	
指標3	新たな交流拠点の整備により来街者の増加は見られたが、その効果が中心市街地内全体に波及しなかったこと、少子高齢化、後継者不足により商店街の店舗数の減少に歯止めがかからなかったことなどから目標値の達成には至らなかった。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)	
				基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	数値			
その他の数値指標1	白河市市民文化会館年間利用者数	人/年	白河市市民文化会館に係る年間利用者数(H31.4、白河市調べ)		36,450	H22	モニタリング	確定	○	124,143	日常的な賑わいを創出する地域の交流拠点である(仮称)白河市市民文化会館の年間利用者数を指標とすることにより、まちなかの賑わい創出への効果を示す。
							事後評価	見込み			
その他の数値指標2	-						モニタリング	確定			
							事後評価	見込み			
その他の数値指標3	-						モニタリング	確定			
							事後評価	見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

<ul style="list-style-type: none"> ・(市)市民会館北線及び(市)市民会館南線の整備により、隣接する市民駐車場の利便性が向上し、まちなかの回遊性向上に寄与したほか、歩道の設置により歩行者の安全性が確保された。 ・市指定史跡である白河藩大名家墓所が位置する小南湖公園の整備により、本市の歴史的風致の維持向上に寄与した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
-	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
-	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
小南湖公園整備事業に関する意見の集約	予定どおり実施した	(白河市歴史的風致維持向上計画協議会) 【実施頻度】1回 【実施時期】平成25年1月23日 【実施結果】学識経験者、関係団体、市民委員から構成される協議会において 事業の概要などの経緯を説明し、歴史まちづくりを推進し、まちなか回遊性の向上に資する事業と認められた。	
	予定はなかったが実施した ●		
	予定したが実施できなかった (理由)		
-	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名: 組織の概要	
白河市中心市街地活性化協議会	予定どおり実施した	事業の効果等について、目標指標の達成状況等を把握しながら、施策の実効性を高めていくため、適切な評価、検証を行い、継続的な改善を図る。	白河市中心市街地活性化協議会	
	予定はなかったが実施した ●			
	予定したが実施できなかった (理由)			
-	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
白河市都市再生整備計画事業(白河市中心市街地地区)関係課に対する意見聴取	関係各課(道路河川課、文化財課、まちづくり推進課、文化振興課)	令和元年11月28日～12月4日	まちづくり推進課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	その他の数値指標1						
指標名		平日歩行者通行量	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)年間利用者数	(仮称)白河市民文化会館年間利用者数						
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見			
基幹事業	(道路) (市)市民会館北線	○	歴史・文化・交流の拠点となる(仮称)白河市民文化会館、中心市街地市民交流センター、小南湖公園が整備されたことや、市民会館北線・南線など周辺の歩行環境が改善されたことにより、まちなかの回遊性が向上し、歩行者数が増加した。	中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)のリニューアルにより、子育て支援施設やチャレンジショップ、介護福祉士専門学校などが新たに入居したほか、定期的なイベントが開催されたことなどにより、子育て世代や学生など利用者数が大幅に増加した。	(仮)白河市民文化会館は、誰もが気軽に触れることができる施設として市民に広く利用されているほか、芸術的価値が高い多様なジャンルの事業が開催され、市内のみならず市外及び県外からも集客が図られ、来館者が大幅に増加した。	○				
	(公園) 小南湖公園	○				-				
	(高質空間形成施設) (市)市民会館南線	○				○				
提案事業										
関連事業	暮らし・にぎわい再生事業 (仮称)白河市民文化会館、駐車場	◎				○		◎		
	身近なまちづくり支援街路事業 (仮称)乙姫桜プロムナード2号線・3号線	○				-		○		
	街なみ環境整備事業 丹羽長重廟周辺	○	-	-						
	暮らし・にぎわい再生事業 中心市街地市民交流センター	◎	◎	○						
	市民駐車場整備事業	○	○	-						

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	その他の数値指標1
今後の活用	今後もまちなかの交流拠点を核として回遊性の向上を図る。	今後も施設利用者のニーズに応えながら施設の利用促進を図る。	今後も施設利用者のニーズに応えながら施設の利用促進を図る。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3											
指標名		小売業及び一般飲食店事業所数											
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	(道路) (市)市民会館北線	△	(仮称)白河市市民文化会館、中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)、小南湖公園の整備により来街者は増加したが、その効果が中心市街地の商店街全体に波及せず事業所数の増加に直接繋がらなかった。	II									
	(公園) 小南湖公園	△											
	(高質空間形成施設) (市)市民会館南線	△											
提案事業													
関連事業	暮らし・にぎわい再生事業 (仮称)白河市市民文化会館、駐車場	△											
	身近なまちづくり支援街路事業 (仮称)乙姫桜プロムナード2号線・3号線	△											
	街なみ環境整備事業 丹羽長重廟周辺	△											
	暮らし・にぎわい再生事業 中心市街地市民交流センター	△											
	市民駐車場整備事業	△											

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	今後も商工会議所や関係団体等と連携し、空き店舗に対する支援制度を活用しながらまちなかへの出店をPRしていくことで、小売業及び一般飲食店事業所数の増加につなげていく。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー		担当部署
白河市都市再生整備計画事業(白河市中心市街地地区)関係課に対する意見聴取	関係各課(道路河川課、文化財課、まちづくり推進課、文化振興課)	令和元年11月28日～12月4日	まちづくり推進課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり	白河藩歴代大名墓所が所在する小南湖公園の整備により、本市の歴史的資源を活用したまちなかの回遊拠点が整備された。		本市の魅力である「城下町白河」の歴史・文化資源の有効活用や、良好な景観の形成について一層の推進を図る必要がある。
中心市街地の滞留拠点の拡充と良質な景観形成による魅力向上	市民駐車場とあわせて(市)市民会館北線・南線が整備され、周辺の歩行環境が改善されたことにより、まちなかの滞留拠点の充実が図られた。		
都市交流拠点の整備・拡充による賑わい創出	(仮称)白河市民文化会館や中心市街地市民交流センター(マイタウン白河)の整備により、交流拠点の充実が図られ、賑わいが創出された。		交流拠点や滞留拠点の充実による来街者の増加や賑わいを一過性のものとせず、中心市街地全体へ拡大していくため、中心市街地の商店街と連携した回遊性の向上や施設の利活用促進をさらに推進する必要がある。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	中心市街地の賑わい創出	整備した交流拠点や回遊拠点のさらなる利用促進により、継続的な賑わいの創出を図っていく。	・商店街やまちづくり会社などと連携したイベントの開催

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり	歴史的風致建造物の有効活用や城下町の良好な景観形成、高質な街路整備、歩行環境の拡大により、まちなかの回遊性向上を目指す。	・歴史的・文化的資源を活用した施設の整備 ・良好な景観形成を図るためのまちなみ環境の整備
	中心市街地の回遊性向上	中心市街地の交流拠点の活用促進、機能拡充とあわせて、商店街やまちづくり会社などと連携し、回遊性の向上に取り組むことで、中心市街地全体の賑わい創出を目指す。	・まちなか交流拠点の整備 ・商店街やまちづくり会社などと連携したイベントの開催
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	平日歩行者通行量	人/日	2,734	H23	2,750	H29	確定 ●	3,024	○		→		
							見込み			なし			
指標2	中心市街地交流センター(マイタウン白河)年間利用者数	人/年	90,934	H22	100,000	H29	確定 ●	175,151	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3	小売業及び一般飲食店事業所数	事業所	187	H23	209	H29	確定 ●	171	△	あり	→		
							見込み			なし ●			
その他の数値指標1	(仮称)白河市民文化会館年間利用者数	人/年	36,450	H22	/		確定 ●	124,143	/		→		
その他の数値指標2	-			H	/		確定		/		→		
							見込み						
その他の数値指標3	-			H	/		確定		/		→		
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		計画作成時に事後評価の実施を考慮した上で、 目標指標を設定する必要がある。
	うまく いかなかった点	事業実施箇所(小南湖公園)と指標の歩行者通行量の計測箇所とが一致せず評価に苦慮した事業があった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	本計画で設定した指標は、いずれも定期的に計測されるものを採用していることから、時系列で評価を確認することができた。	定期的に計測されている値を指標とすることは、 PDCAサイクルに有効である。
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

計画名: 都市再生整備計画(小峰城下町地区)

計画期間: 平成30年度～令和4年度

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	令和元年12月9日～12月20日	令和元年12月9日～12月20日	・Eメール及びFAX、担当課への持参、郵送	まちづくり推進課
広報掲載・回覧・個別配布	まちづくり推進課窓口での公表	令和元年12月9日～12月20日	令和元年12月9日～12月20日		
説明会・ワークショップ	-				
その他	-				

住民の意見	意見なし。
-------	-------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	若井 正一 日本大学名誉教授工学博士 小椋 栄一 うつくしま地球温暖化防止活動推進委員	令和元年12月2日	都市計画課 (本事後評価については まちづくり推進課が担 当)	白河市都市計画審議会 条例	白河市都市計画審議会
その他の委員	鈴木 俊雄 白河商工会議所 内田 宜枝 福島県司法書士会白河支部 深谷 宏光 白河市農業委員会 栗原 寛 白河市町内会連合会 金子 善也 白河青年会議所 鈴木 節夫 NPO法人しらかわ建築サポートセンター 鈴木 孝行 白河市手をつなぐ親の会 吉見 優一郎 白河市議会議員 荒井 寿夫 白河市議会議員 室井 伸一 白河市議会議員				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書について、特に意見等はなかった。
	成果の評価	・成果の評価について、特に意見等はなかった。
	実施過程の評価	・実施過程の評価について、特に意見等はなかった。
	効果発現要因の整理	・指標改善への貢献度はもっと高くしてよいのではないかとこの意見をいただいた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表について、特に意見等はなかった。
	その他	・特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・今後のまちづくり方策の作成について、特に意見等はなかった。
	フォローアップ	・フォローアップについて、特に意見等はなかった。
	その他	・特になし

	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
	未実施	

有識者の意見	
--------	--